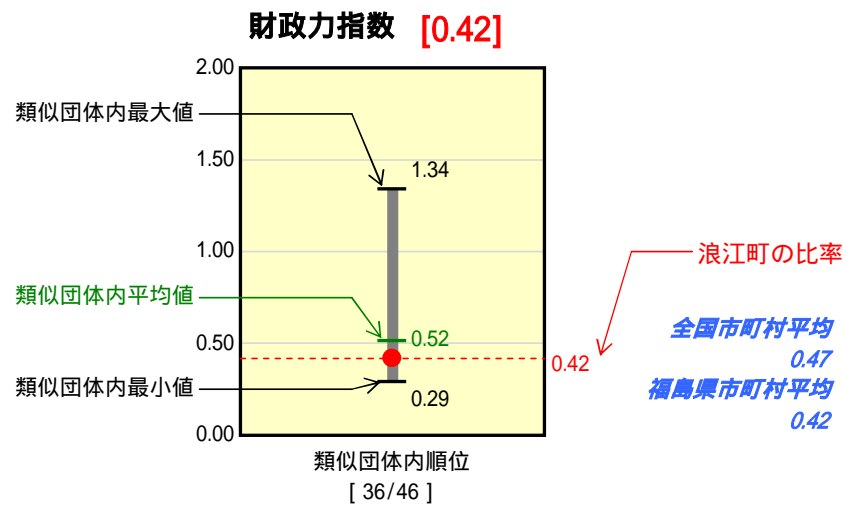


市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

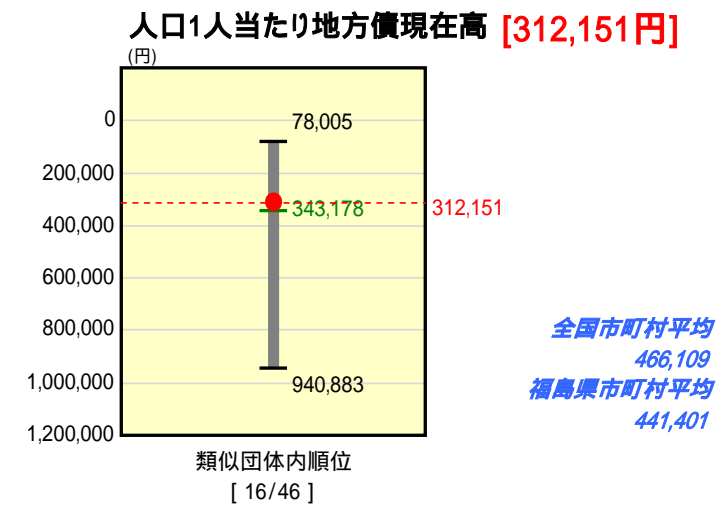
福島県 浪江町

人口	22,704 人(H17.3.31現在)
面積	223.10 km ²
歳入総額	8,012,988 千円
歳出総額	7,809,906 千円
実質収支	193,214 千円

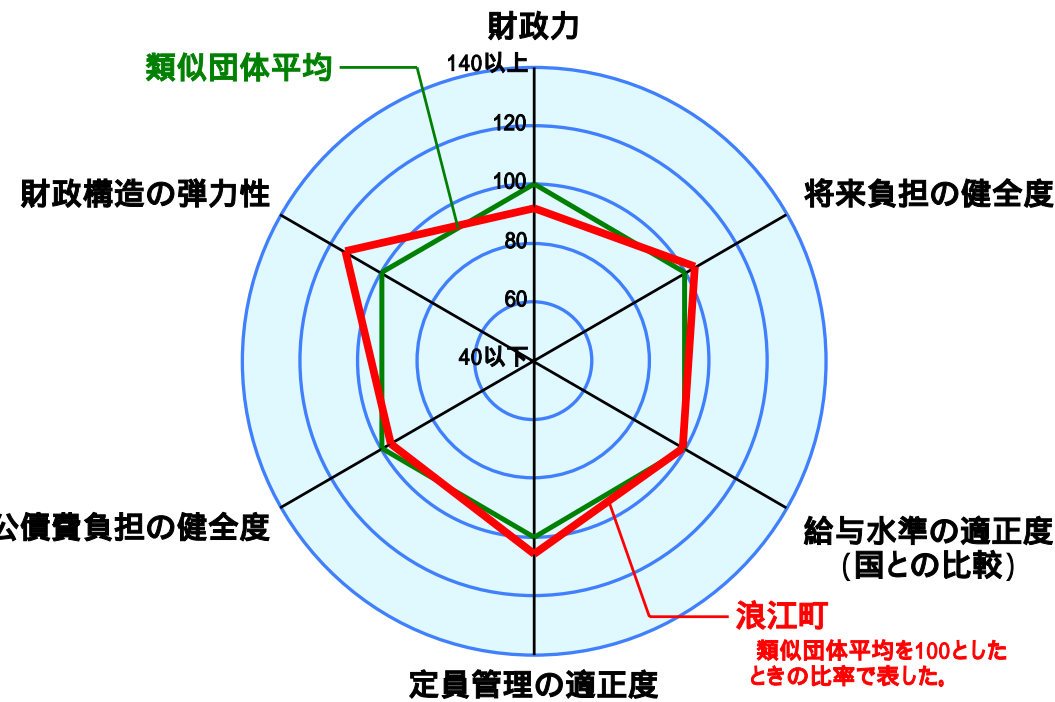
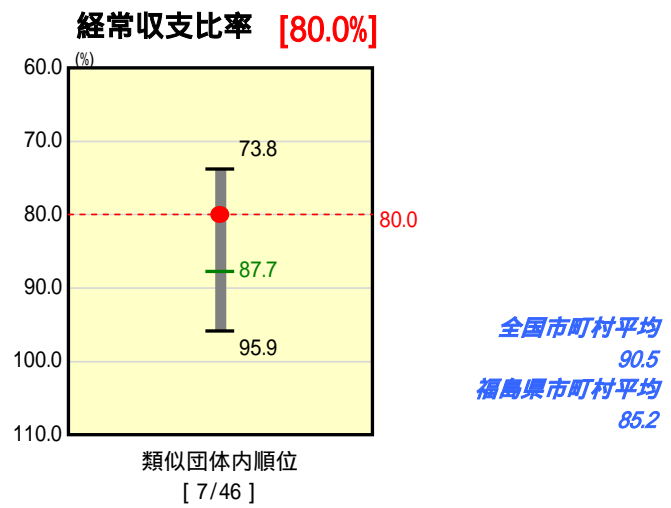
財政力



将来負担の健全度

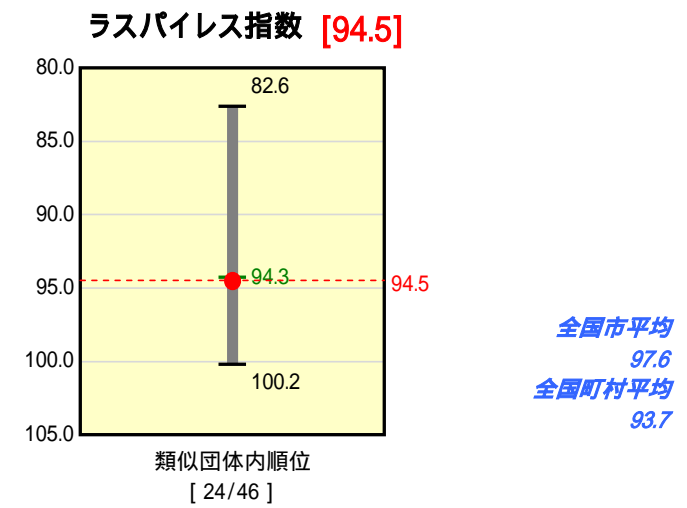


財政構造の弾力性

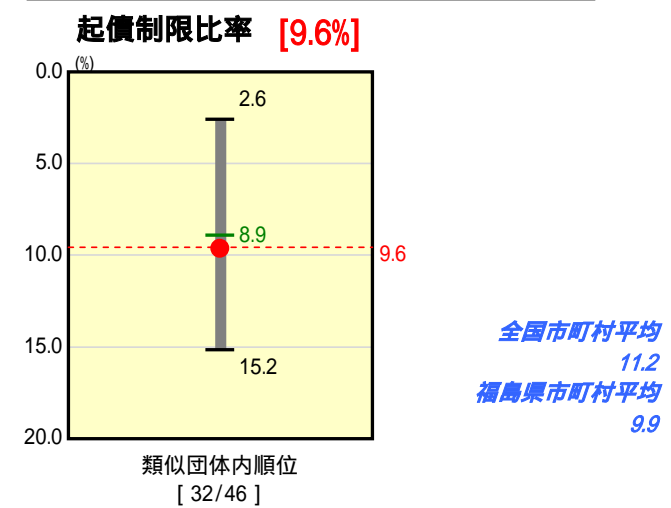


類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

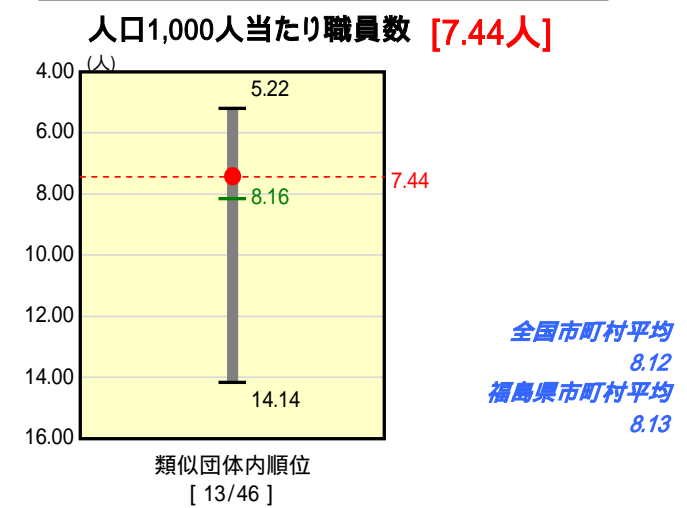
給与水準の適正度(国との比較)



公債費負担の健全度



定員管理の適正度



分析欄

財政力指数: 長引く景気低迷による町税の減収や財政基盤の弱さなどから0.42と類似団体平均を下回っているため、総務省通知による定員適正化計画により職員数の削減(平成14年から3ヶ年で13名削減)など経常経費の削減に今後も努める。

経常収支比率: 前年度から3.6ポイント上昇し、80.0と類似団体平均を下回っている。人件費は平成13年から行っている退職者不補充等により総額は抑制されている。扶助費・補助費は僅かながら上昇、一方、公債費は平成12年度までに繰上償還を行ったこと等により、年々確実に減少(対前年度比0.4%減)している。今後も定員適正化計画や起債計画の適正な運用を図り、経常収支比率の抑制を図る。

起債制限比率: 臨時財政対策債の利用などにより僅かではあるが昨年度より上昇(前年度比0.6ポイント上昇)しており、類似団体平均も上回る状態となっているが、町独自の財政計画等により今後の町債依存度を下げる財政運営に努める。

人口1人当たり地方債現在高: 庁舎建設や小・中学校建設などにより高水準であった地方債残高もその後の借入抑制及び繰上償還により確実に減少(H15 7,112百万円 H16 7,087百万円)し、類似団体平均を下回っている。引き続き、新規発行の抑制に努めていく。

ラスパイレス指数: 浪江町行政改革集中改革プランに基づき、職務と職責がより明確化された給料表の導入や特殊勤務手当の見直し、退職時特別昇給を廃止するなど常に見直しを図りながら適正水準維持に努めている。

人口1,000人当たり職員数: 職員の定員適正化計画により、職員数の削減を計画的に行ってきたことにより7.44人と類似団体平均を下回っている。今後も集中改革プランに基づき、支所、診療所、保育所、公民館を(仮)津島地区総合センターに統合し事務の効率化と職員の削減を図り、また、平成17年4月1日現在の職員数193人を基準とし、5年間で10人(約5%)の職員数の削減を図る。